

新・山手樹一郎著作年譜 補遺Ⅲ

影山 亮

本年譜は「『新・山手樹一郎著作年譜』およびその制作過程」(『立教大学大学院日本文学論叢』一三号、平成二五年一〇月、立教大学大学院文学研究科日本文学専攻)の補遺であり、同一四号に掲載した補遺Ⅰ、同一六号の補遺Ⅱに続くものである。

表記についてだがゴシック体の太字になっていない著作は、すでに存在が知られていたが初出年月が今回の調査で明らかになったものである。また連載ものの初出紙誌月日の巻号が「？」になっている場合があるが、これは連載開始時の巻号は判明したものの、連載終了時の巻号は様々な施設や方法で調査したものの確認出来なかったからである。加えて「※」のついている著作は『出版年鑑』などによって著作名や紙誌が発覚したが、実際にその紙誌を見ることが出来なかったものである。また連載ものの初出紙誌月日の巻号が「？」になっている場合がある。これは連載開始時の巻号は判明したものの、連載終了時の巻号は様々な施設や方法で調査したものの確認出来なかったからである。さらに月日が「？」になっている著

作は、出版の日にちまでは不明だったものである。「註」が付いている著作は、最後にまとめて註で説明する。

月日	作品名・書名	執筆名	種類	初出誌・紙名	巻・号	初刊本
大正二二(一九二三)年	木村重成	いぐちちようじ	小説	小学画報	4・3	
昭和一四(一九三九)年	首 [※]	山手樹一郎	小節	サンデー毎日臨時増刊		
昭和二三(一九四八)年	右衛門七恋慕 [※]	山手樹一郎	小説	講談雑誌		『義士小説名作集』S15(1940) 8月・博文館
昭和二三(一九四八)年	夢介千両みやげ	山手樹一郎	小説	読物と講談	3・2・7・7	『新大衆小説全集』九[S25(1950)] 1月・矢貴書店
昭和二三(一九四八)年	をしどり日記	山手樹一郎	小説	オール講談	1・3	
昭和二四(一九四九)年	竹刀婿	山手樹一郎	小説	講談界		
昭和二六(一九五二)年	推薦の言葉〔註1〕	山手樹一郎	随筆	近代ロマン	2・1	
昭和二六(一九五二)年	いさみ肌祝言	山手樹一郎	小説	講談春秋	創刊号	
昭和二六(一九五二)年	天狗くずれ	山手樹一郎	小説	読物街	6集	『恋かたぎ侍話』S25(1950) 11月・東方社
昭和二六(一九五二)年	生霊に追われる男	山手樹一郎	小説	サンデー毎日	30・37	『愉しからずや万作』S27(1952) 8月・東方社

月日	作品名・書名	執筆名	種類	初出誌・紙名	巻・号	初刊本
2 1	追われ天狗	山手樹一郎	小説	文芸倶楽部	2月号	
昭和二七（一九五二）年						
1 1	少年剣士	山手樹一郎	小説	少年画報	6・1	
昭和二八（一九五三）年						
5 24	所得税額と作家	山手樹一郎	随筆	朝日新聞	3・8 ? ?	
昭和三五（一九六〇）年						
1 1	あばれ剣法	山手樹一郎	小説	少年画報	13・1 ? ?	
昭和三七（一九六二）年						
11 27	千石鶴	山手樹一郎	小説	北海道新聞	翌年11月3日	『千石鶴』S 39（1964）5月・ 講談社
? ?	時計と頭	山手樹一郎	随筆	単行本書き下ろし		『時計随筆五十人集』S 37（1962） 吉日、堀田時計店
昭和三九（一九六四）年						
8 1	作家の年輪	山手樹一郎	随筆	小説現代	八月号	
昭和四〇（一九六五）年						
7 25	私の小説作法	山手樹一郎	随筆	毎日新聞		
10 1	私の大きな息子	山手樹一郎	随筆	小説現代	十月号	

6 ?	4 1	3 ?	昭和四四（一九六九）年	10 ?	5 15	昭和四三（一九六八）年	11 10	10 18	6 10	6 1	5 17	1 10	昭和四二（一九六七）年	3 18	昭和四一（一九六六）年	月 日	作品名・書名	執筆名	種類	初出誌・紙名	巻・号	初刊本
友情の旅	老年前期に入る	仇討ちくずれ		終戦の日	持って生れた星		私の手相	富田常雄君を悼む	万歩計	うちのお嫁さん	虹に立つ侍	黒部君と楠田君のこと		おれの青空								
山手樹一郎	山手樹一郎	山手樹一郎		山手樹一郎	山手樹一郎		山手樹一郎	山手樹一郎	山手樹一郎	山手樹一郎	山手樹一郎	山手樹一郎		山手樹一郎								
随筆	随筆	小説		随筆	随筆		随筆	随筆	随筆	随筆	小説	随筆		小説								
随筆手帖	小説現代	小説クラブ		随筆手帖	随筆手帖		随筆手帖	毎日新聞	随筆手帖	小説現代	河北新報	随筆手帖		週刊スポーツマガジン								
第6号	四月号	3月号		第5号	第4号		第3号	第2号	六月号	翌年4月9日	創刊号	6月10日										
										『虹に立つ侍』S44（1969）2月・講談社												

5 ?	5 ?		1 ?	2 1	10 ?	8 ?	4 21		12 ?	12 13	月 日
城さんとお酒	土師先生と俳句		無題〔註3〕	四十歳の一本立ち	病気は怖い	ステッキと私	さむらい山脈		冷汗をかく	争えぬ事実	作品名・書名
山手樹一郎	山手樹一郎	昭和五二（一九七七）年	山手樹一郎	山手樹一郎	山手樹一郎	山手樹一郎	山手樹一郎	山手樹一郎	山手樹一郎	山手樹一郎	執筆名
随筆	随筆		推薦文	随筆	随筆	随筆	小説	随筆	随筆	随筆	種類
随筆手帖	随筆手帖		随筆手帖	問題小説	随筆手帖	随筆手帖	信濃毎日新聞	随筆手帖	随筆手帖	東京新聞	初出誌・紙名
第16号	第16号		第14号	新春特別号	第11号	第10号	翌年1月25日	第7号	第7号		巻・号
							『さむらい山脈』S48（1973） 3月・講談社				初刊本

【註】

(1) 「黒髪地獄」は『小説の泉』が企画した「花形リレー大ロマン小説 五彩の情火」の一篇で、このあと村上元三「白妖聖母」、西川満「黄金花」、大林清「紅恋」、山岡莊八「紫峰の桃」と続く。

(2) この推薦の文章は、山手の弟子にあたる上野一雄の「好色燈籠」に対するものである。

(3) この文章は竹村篤『天童の鷹』に対しての推薦文であるが、題名がないため無題とした。

【紙誌出版社一覧】

『小学画報』（新報社）／『サンデー毎日』（毎日新聞社）／『サンデー毎日臨時増刊』（毎日新聞社）／『講談雑誌』（博友社）／『読物と講談』（公友社）／『月刊 さきがけ』（秋田魁新報社）／『小説の泉』（矢貴書店）／『オール講談』（近畿出版）／『講談界』（良友社）／『近代ロマン』（近代ロマン社）／『講談春秋』（講談春秋社）／『読物街』（東京読物出版社）／『文芸倶楽部』（博文館）／『少年画報』（少年画報社）／『朝日新聞』（朝日新聞社）／『北海道新聞』（北海道新聞社）／『小説現代』（講談社）／『毎日新聞』（毎日新聞社）／『週刊スポーツマガジン』（ベースボール・マガジン社）／『随筆手帖』（日本作家クラブ）／『河北新報』（河北新報社）／『小説クラブ』（桃園書房）／『東京新聞』（東京新聞社）／『信濃毎日新聞』（信濃毎日新聞社）／『問題小説』（徳間書店）

（かげやまりよう 本学大学院博士課程後期課程）